



令和5年度 学校経営グランドデザイン

広島市立広陽小学校

児童の実態

- 自分にやよいところがある(85%)全国比+5.6
- 決めたことは最後までやる(89%)全国比+10.4
- 地域の大人と勉強やスポーツする(42%)全国比+10.9
- 自分と違う意見について考えるのは楽しい(61%)全国比-12.1
- 課題に向け自分で考え自ら取り組む(60%)全国比-17.0
- 毎日同じ時間に就寝する(72%)全国比-9.8

広陽の子ども

ねばり強い子ども
考える子ども
たすけあう子ども
思いやりのある子ども
たくましい子ども

学校力「4つの重点」

組織力
(指定地域共通の改革)
授業改善
(児童が主語の授業)
ICT活用
(個別最適な学びの向上)
働き方改革
(目標設定と意識改革)

育成を目指す資質・能力

資質・能力	生きる力	【確かな学力】 ～よく考え～	【豊かな心】 ～心・声・目線～	【健やかな体】 ～よく動く～
生活に生きる 「知識・技能」の習得		学習規律の着実な定着 基礎的・基本的な知識技能 ユニバーサルデザインを意識	基本的な生活習慣 ・あいさつ・返事・やる気 ・根気・揃える	基本的運動技能の習得 ・持久力 ・調整力(反復横跳び)
未知の状況にも対応できる 「思考力・判断力・表現力等」の育成		課題解決への思考 互いの考えを聞き、違いや良さに 気づくことで、自分の考えを深める	自己肯定感の育成 多様な考えの尊重	生活習慣の自己評価 運動の工夫
学びを人生や社会に生かそうとする 「学びに向かう力・人間性等」の涵養		主体的な学習態度 見方・考え方の活用	課題の発見 自己や集団の向上	生活習慣の課題改善 体力向上に挑戦

令和5年度 重点目標【子ども像】

心と声と目線をそろえ、よく考え、よく動く広陽っ子!
～「あいさつ」「ありがとう」「やる気」「根気」～

重点目標達成に向けた経営方針（学校力の捉え方）

学校が一体となって、組織的な力で実現する「教育力」
個々の教員の力に、過度に依存しない「チーム力」

働き方改革の推進

時間外在校等時間
・1か月で45時間以内
・1年間で360時間以内

重点目標の具現化に向けた今年度の取組

～よく考え～ 教務・学習・研究・学年	～心・声・目線をそろえ～ 生徒指導・教務・学年	～よく動く～ 保体・教務・学年
1) 学びに向かう姿勢の定着 ・学習規律の確実な定着 ・基礎知識の定着の徹底 ・朝学習や家庭学習との連動 2) 児童を主語にした授業改善 ・読解と記述に焦点を当てる ・単元計画と評価の一体化 ・見通しと振り返り 3) 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現 ・Chromebookの効果的な活用 ・AIドリルを用いた基礎定着	4) 人と繋がる人間力の育成 ・気持ちのいいあいさつと返事 5) 明確な学級経営方針 ・「授業で勝負」「個を大事にする」「児童への愛情」が基本 ・自己肯定感の更なる育成 (一人の人格として尊重する) ・「情報モラル」等の育成 6) 生命を尊重する態度の育成 ・いじめは絶対にだめだと考える児童100%の達成(現98.1%) ・ユニバーサルデザインの視点に立った学級経営	7) 基本的な運動能力の習得 ・体育科授業の運動量の確保、外遊びや体育館遊びの推奨 ・新体力テストの丁寧な実施(基準を明確にし共有する) ・体育科授業における「作戦・工夫」の位置づけ 8) 望ましい生活習慣 ・食事や就寝時間など健康的な生活習慣の形成支援 9) 感染症対策能力の育成 ・主体的に対策できる力 ・場に応じた判断ができる力

家庭・地域、学校運営協議会との連携

○地域と学校の課題の共通理解 ○学校だより・HP による情報発信 ○学校運営協議会による地域の教育力の向上 ○関係機関と連携した教育相談 ○「働き方改革」への理解と協力

